

ひめどだより vol.8

社会基盤整備の基本的な考え方 ～「備える、支える、つなぐ」～

中播磨県民センターでは、自然災害に「備える」、日々の暮らしを「支える」、次世代に持続的な発展を「つなぐ」の3つの視点で、社会基盤整備プログラム（裏面参照）に基づき、選択と集中による計画的な社会基盤整備を進めています。

船場川洪水調節施設完成式
平成31年3月16日（土）



ダイヤモンド・プリンセス
平成31年4月5日（金）
姫路港入港予定



写真提供：プリンセス・クルーズ

Contents（内容）

- 表紙
- Ⅰ 備える
 - ・災害復旧の取組
 - ・“船場川洪水調節施設”が完成
 - ・鉄道下道路の冠水対策強化
- Ⅱ 支える
 - ・道路の整備
 - ・通学路の安全対策を強化
- Ⅲ つなぐ
 - ・播磨臨海地域道路の整備推進
 - ・計画的・効果的な老朽化対策
 - ・木造インターンシップ
 - ・姫路港開港60周年
- トピックス、組織

I 備える

i 頻発する大雨に備える総合的な治水対策

平成30年7月には管内で初めて大雨特別警報が発令されるなど、頻発する大雨に備え、以下の対策を推進し、洪水被害を軽減します。

<主な事業箇所>

- ① 流下能力の不足に対応した堤防の嵩上げや河道掘削
(二) 市川 (姫路市)
- ② 洪水調節施設池の整備
(二) 船場川 (姫路市)、(二) 八家川 (姫路市)
- ③ 中上流部でネックとなっている箇所での河川整備
(二) 須加院川 (姫路市)、(二) 越知川 (神河町)、(二) 岡部川 (市川町)

次のページで紹介します。

ii 土砂災害対策

「第3次山地防災・土砂災害対策計画(2018(H30)～2023年度)」に基づき、土砂災害対策の推進を図ります。土砂災害が起きると人家への影響が大きいなど緊急性の高い箇所から、重点的に砂防えん堤等を整備します。



別車川下谷川
(姫路市夢前町菅生淵)
H31年度 完成予定



奥林谷川
(神河町長谷)
H31年度 完成予定



保喜カラス谷川
(市川町保喜)
H31年度 完成予定
※完成イメージ



福岡川
(福崎町福田)
H30.7 完成



現場の作業員



とても大きいね!

災害復旧の取組

「平成30年7月豪雨」により、中播磨県民センター管内においても法面崩壊による通行止めや河川護岸の崩壊等の被害が発生しました。

災害発生直後には応急工事を行い、その後、国からの補助金を受けるための災害査定を経て、順次復旧工事に着手しています。

※岡山県や広島県など全国各地で災害復旧工事が行われていること等から、資材の供給不足が生じており、復旧に期間を要する場合があります。



(主) 姫路神河線の路肩崩壊
(姫路市夢前町山之内)



(二) 夢前川の護岸崩壊 (姫路市書写)

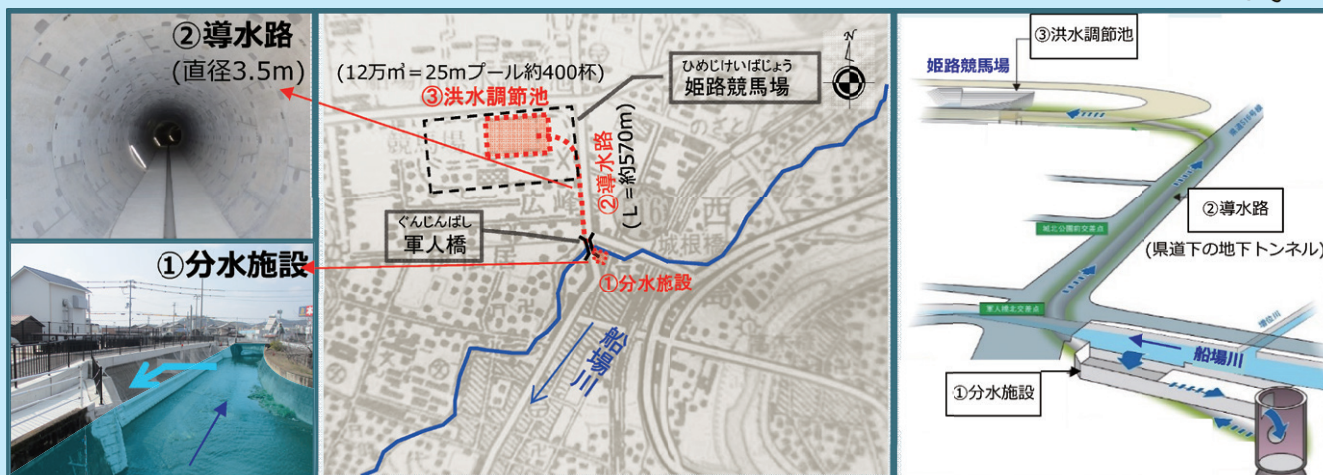
洪水に備える“船場川洪水調節施設”が完成！

県下最大規模

姫路城周辺では、平成16年10月の台風第23号により船場川があふれ、浸水面積約0.3km²、浸水家屋約180戸の被害が発生しました。このため、姫路競馬場内のグラウンドを掘り下げて貯留容量12万m³の洪水調節池をつくり、船場川の軍人橋すぐ上流の分水施設から洪水を横取りし、県道下の地下トンネルを介して一時的に貯留する洪水調節施設を整備しました。この整備により、浸水被害の軽減が期待できます。

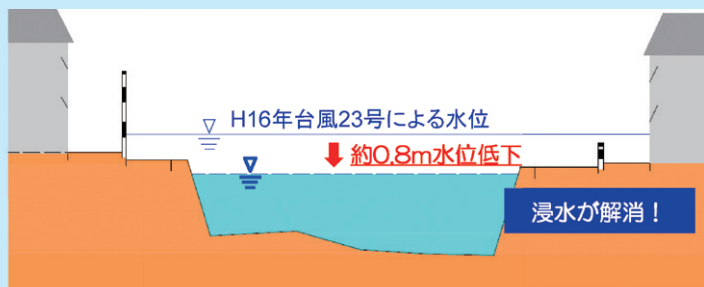


平成21年度より整備を進めてきた船場川洪水調節施設は、関係者のご協力のおかげをもちまして完成し、平成31年3月16日（土）に完成式を行いました。



《洪水調節施設の効果》

平成16年10月の台風第23号（24時間雨量約150mm）と同規模の洪水に対して、船場川の水位を約0.8m低下させ、姫路城周辺市街地の浸水を解消することが期待できます。



鉄道下道路の冠水対策強化 空気式遮断機の設置（県内第1号！）

姫路市内の県が管理する道路と鉄道が交差する全てのアンダーパス部において、大雨時の通行の安全性を一層確保するため、空気式遮断機（エアバルーンで道路を物理的に封鎖する装置）を設置しました。



バルーンが出ているときはこれより先に進入しないで下さい。



（一）広畑青山線（姫路市広畑区才）

設置場所

- ◆（国）312号 姫路市御国野町御着（JR山陽本線との交差部）
- ◆（一）姫路環状線 姫路市飾磨区山崎台（JR山陽本線との交差部）
- ◆（一）広畑青山線 姫路市広畑区才（JR山陽本線との交差部）

Ⅱ 支える

日常生活や地域を支える社会基盤の充実をめざし、地域の交流を支える道路の整備、交差点の渋滞対策、通学路の安全対策などに取り組んでいます。

道路の整備

姫路市流出入交通の集約・分散化を図るための骨格となる放射環状道路のうち、国道372号などの放射道路や県道広畑青山線のバイパスなどの環状道路の整備を推進しています。

<主な事業箇所>

① 放射道路【総延長約63km】

- ・(国) 372号 [車道の拡幅と歩道設置] (姫路市飾東町八重畑～山崎) L=1.65km (図-①)
- ・(国) 2号 [2車線を4車線に拡幅] (姫路市東郷町～神屋町) L=0.96km (図-②)
- ・(国) 312号 [車道の拡幅と歩道・自転車レーン設置] (姫路市砥堀) L=0.32km (図-③)

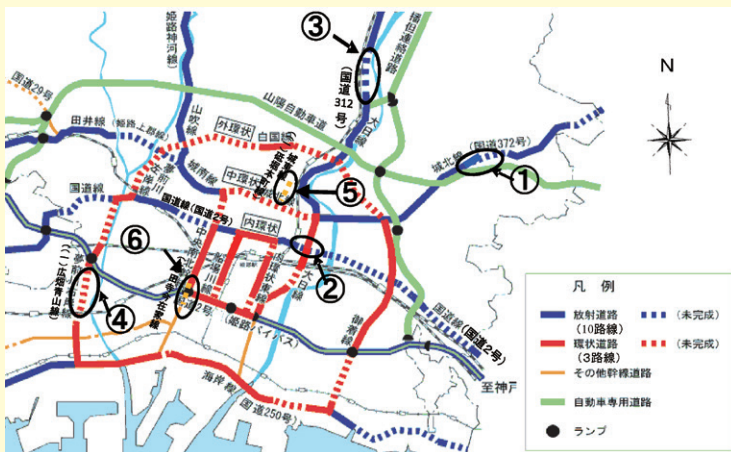
② 環状道路【総延長約52km】

(外環状道路)

- ・(一) 広畑青山線 [バイパス] (姫路市広畑区才～西蒲田) L=2.5km (図-④)
※俺天下山トンネル (L=251m) : H27.9末完成

(その他都市軸を形成する道路)

- ・(一) 砥堀本町線 [車道の拡幅と歩道・自転車レーン設置] (姫路市河間町) L=0.5km (図-⑤)
- ・(一) 田寺今在家線 [両側に歩道・自転車レーン設置] (姫路市井ノ口) L=0.16km (図-⑥)



【3環状10放射道路構想図】



(一) 広畑青山線 [バイパス]
鉄道交差点部整備イメージ

通学路の安全対策を強化

歩道設置事業に加え、自転車レーンや路肩のカラー舗装等による視覚的分離により安全かつ快適な通行空間を確保し、歩行者・自転車の安全性を高める道路整備に取り組んでいます。

<主な事業箇所>



※完成イメージ

自転車レーンの整備
(一) 和久今宿線
(姫路市飾磨区山崎台～付城)



(一) 石倉玉田線
(姫路市書写)

Ⅲ つなぐ

次世代につなぐ社会基盤の形成として、地域活性化の基盤となる基幹道路や国際拠点港湾の整備、今後急速に進展することが懸念される橋梁等の老朽化対策などを行います。

播磨臨海地域道路の整備推進

国道2号姫路・加古川バイパスの大渋滞を解消するとともに、播磨臨海地域における製造業の活性化、交通渋滞・交通事故の削減等を目的に播磨臨海地域道路の整備を推進します。



播磨臨海地域道路（姫路市）

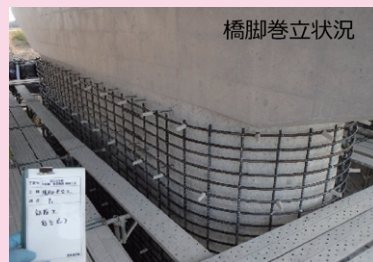
計画的・効率的な老朽化対策

<主な事業箇所>

- ・耐震補強（橋脚巻立、落橋防止装置の設置）等
 - ・老朽化した橋脚の補修等
 - ・鋼矢板護岸の老朽化対策
- (一) 大柳仁豊野線〔仁豊野橋〕（姫路市）
 (国) 312号〔鬼橋〕（姫路市）
 (二) 汐入川（姫路市）



(一) 大柳仁豊野線〔仁豊野橋〕（姫路市）



(一) 和久今宿線京見橋（姫路市）

建築技術をつなぐ・育む “木造インターンシップ”

第20回
「人間サイズのまちづくり賞」
受賞 (H30.12)

建築を学ぶ学生等を対象に、中播磨地域の木工や左官等の職人組合等と協働して、木造建築技術を体験する機会を提供するとともに、地域住民等との交流を通して「木造建築技術承継と若者の育成」と「地域の活性化」を図る取組として、平成17(2005)年度から毎年「かみかわ木造インターンシップ」を実施しています。



- ・学生たちが地元の熟練技能者の指導を受けながら、地元木材を活用し、地域の身近な施設を周辺の景観との調和に配慮した建物修景や看板の設置等の作業を行います。
- ・平成17年から平成29年までの13年間に、越知谷地区のバス停7ヶ所、古民家を店舗へ改修2棟、銀の馬車道交流館外壁改修、「新田大歳神社」お堂の改築、「銀の馬車道」沿い堀の改修及び塵ステーションの改築（景観形成地区修景に寄与）、木製案内看板設置、丸太花壇の設置等を実施してきました。



「銀の馬車道」沿い建物の修景
（景観形成地区）



「上垣内」バス停新築



棟梁の指導

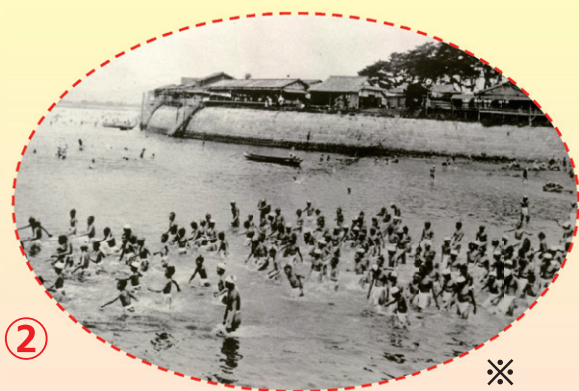


地元の住民と交流

播磨の海の玄関口！発展に向けた整備や利活用を推進します。

姫路港開港60周年

姫路港の今昔



姫路港は昭和26年に重要港湾に指定され、昭和34年4月に開港、昭和42年には特定重要港湾に指定され、工業港として播磨地域の産業の発展に大きな役割を果たしてきました。経済発展とともに港の規模・機能を拡充させ、平成24年に国際拠点港湾に指定されました。平成31年には開港60周年を迎えます。

※写真提供：兵庫県立歴史博物館蔵（高橋秀吉コレクション）

2019年記念イベント



**ふれあい
フェスティバル**
夏版
2019年7月14日
15日
秋版
2019年10月19日
20日



海上自衛隊 護衛艦ゆうだち

姫路港ふれあいフェスティバル
& 中播磨地域活動交流メッセ



是非ご来場ください

※写真は2018年度の様子

にっぽん丸



写真提供：商船三井客船株式会社



**クルーズ客船
歓送迎**

カレドニアン・スカイ

2019年5月8日

6月10日

ル・ソレアル

2019年5月25日

にっぽん丸

2019年8月20日

～ 22日

ロストラル

ロストラル



トピックス 「外堀川 河川環境向上計画」策定

外堀川は、水草が異常繁殖により川面を覆い、ゴミのポイ捨てなども重なり河川環境の悪化が著しい河川となっています。

このため、平成30年3月に自治会代表者、学識経験者、県、市等で構成する「外堀川三左衛門堀を美しくする検討委員会」を設置しました。

5回に渡る検討委員会での議論や、周辺住民の方々を対象に実施したアンケート調査結果、地元住民等と行政が協働で取り組んだ一斉清掃活動等を踏まえ、外堀川の河川環境改善に向けた具体的な活動方策や今後の取組方針をまとめた「外堀川 河川環境向上計画」を平成31年3月に策定しました。

今後は、この計画をもとに、官・民一体となって取り組んでいきます。



一斉清掃状況 (H30.12.2)

中播磨地域社会基盤整備プログラム (2019～2028年度)

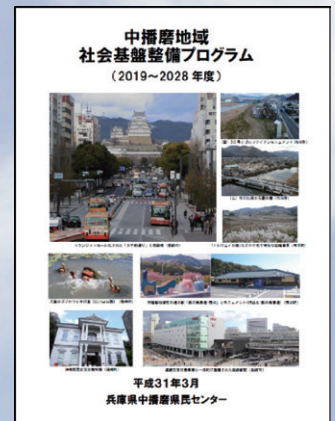
中播磨県民センターでは、事業の概要や実施時期などを明らかにした「社会基盤整備プログラム」を策定し、計画的かつ効率的な社会基盤整備に取り組んでいます。この度、現行プログラムの前期5箇年が終了することから、中播磨地域固有の課題やニーズを踏まえ、新たな「社会基盤整備プログラム (2019～2028年度)」を策定しました。

■ 計画期間

前期：2019～2023年度 後期：2024～2028年度

■ 掲載対象事業 (以下の条件を全て満たす事業)

- ・ 県土整備部・農政環境部所管の社会基盤整備事業
- ・ 総事業費1億円以上の県事業 (災害復旧事業、維持修繕事業を除く)



姫路土木事務所・姫路港管理事務所 所管区域

姫路土木事務所は、姫路市および神崎郡を管轄しています。なお、朝来市の生野ダムは市川の洪水調節を行っていることから姫路土木事務所が管理しています。また、まちづくり建築課と建設業課は西播磨県民局管内も担当しています。流域下水道課も、宍粟市・たつの市・太子町及び姫路市の一部地域に跨る施設の管理を行っています。

姫路港管理事務所は姫路市臨海部と家島町を管轄しています。

姫路土木事務所 〒670-0947 姫路市北条1丁目98番地 (姫路総合庁舎内)
電話：079-281-3001 (代表)

福崎事業所 〒679-2204 神崎郡福崎町西田原1994-4
電話：0790-22-1290

姫路港管理事務所 〒672-8063 姫路市飾磨区須加294
電話：079-235-0176



詳しくはホームページをご覧ください。

姫路土木事務所

検索